

カトリック八尾教会ニュース



2022年4月

“主は復活された、アレルヤ!アレルヤ!”



【今月の予定】

ミサの時間

Tháng tư

3日(日) 四旬節第5主日	9:00	①グループ(A地区+ベトナム1)
*10日(日) 受難の主日(枝の主日)	9:00	②グループ(B地区+ベトナム2)
	11:00	③グループ(C地区+ベトナム3)
*14日(木) 聖木曜日(主の晩さん)	19:30	全グループ
*15日(金) 聖金曜日(主の受難)	19:30	〃 <大斎・小斎>
*16日(土) 復活徹夜祭	19:00	③グループ(C地区+ベトナム3) — 洗礼式
17日(日) 復活の主日	9:00	②グループ(B地区+ベトナム2) — 初聖体式
	11:00	①グループ(A地区+ベトナム1)
ベトナム語のミサ	15:00	
24日(日) 復活節第2主日	9:00	③グループ(C1地区+ベトナム3)
(神のいつくしみの主日)	11:00	②グループ(B地区+ベトナム2)

+ 主の平和

かわちブロック主任司祭 上田 憲

皆様、春の陽気が私たちに喜びへと招く中、世界ではまだまだ不安に思うことが多い今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。4月のミサについてお知らせいたします。蔓延防止措置が解除されていますが、もちろん、大阪の感染状況によっては、変更もありますのでご了承ください。よろしくお願いたします。体調の悪い方は無理をせず、気を付けてお越しくください。

かわちブロック司祭ローテーション表 2022年4月

		八尾 9:00、11:00	枚岡 9:00	布施 11:00
4月3日	四旬節第5主日	安	上田	上田
		9:00	9:00	11:00
4月10日	受難の主日	安	上田	上田
		9:00、11:00	9:00	11:00
4月14日	聖木曜日	上田	上田	安
		19:30	17:00	19:30
4月15日	聖金曜日	安	上田	上田
		19:30	14:00	19:30
4月16日	復活徹夜祭	上田	安	金神父
		19:00	19:00	19:00
4月17日	復活の主日	上田、崔	安	上田
		ベトナム語 15:00	9:00	11:00
4月24日	復活節第2主日	崔	上田	安
		9:00、11:00	9:00	11:00

■四旬節黙想会に参加して(3月20日9時半~)

コロナ感染が始まって初めての黙想会を開いて頂き、イポリト神父様や黙想会を準備してくださった上田神父様をはじめ多くの方に感謝します。

イポリト神父様のお話はまず、四旬節を過ごすにあたり大切な「回心の時間」についてでした。回心の時間とは、イエス様の生涯を黙想し、「私の生き方はこれでいいのか、私は神様の御心にしがたって生活しているのか」とふりかえるとき、「心の方向を変えること」「私は何をすればいいのか」と神様と対話しながら、神様の憐れみを希望することだと話されました。

次は「愛する時間」については、何度倒れても起き上がり、勇気を持って簡単に落胆しないで行動をすること。行動とは3つの要素からなり、「祈り」は神様と自分の関係、「断食」は自分と自分自身との関係、「慈善」は自分と他者との関係であること。そして愛に基づいて善い行いをする事、愛がなければ価値がないことをお話されました。

お話のあと、ご聖体賛美式とゆるしの秘跡をしていただきました。全体を通して、イポリト神父様の誠実さに満ちた、篤い信仰を感じられ、ご復活に向けて自分の生活、信仰を振り返るいい時間になりました。

(信徒 R.E)



■2022年春の司祭の人事異動(かわちブロック)

- ◎Fr. 上田 憲 (布施、八尾、枚岡<かわちB>主任) → 布施、枚岡<かわちB>主任
- ◎Fr. 安 旻祐 (かわちB協力) → 神戸中B共同
- ◎Fr. 崔 周永 (事務局 長 補佐) → 事務局 長、八尾<かわちB>主任

<安神父様異動のご挨拶>

✠主の平和、

こんにちは、アン神父です。2020年3月6日に日本に入り、2年ぶりに神戸鈴蘭台に行くことになりました。八尾教会の皆さんのおかげで多くのことを学ぶことができ、充実した日々を過ごすことができました。特に記憶に残るのは昨年11月から約3ヶ月間、八尾教会司祭館で過ごしたことです。司祭になってから一人で生活するのは初めてでしたが、多くの方々の助けのおかげで楽しく過ごせました。おそらく、皆さんの助けがなかったら私は一人で生活することができなかったと思います。先輩神父様が宣教を準備する私にしてくださった話があります。「海外で宣教するのは非常に難しい。しかし、宣教師にはいつも守護天使がいる。守護天使を頼りにしなさい。」皆さんは、私が日本の生活に適應できるように助けてくださった守護天使です。これまで皆さんからいただいたものを大切に、また他の方々にお伝えしたいと思います。これからも皆様の上に神様の祝福が豊かにありますようお祈り致します。



ねん しじゅんせつ あい けんきん
■2022年 四旬節「愛の献金」キャンペーン

ねん しじゅんせつ きょうこう
2022年 四旬節 教皇メッセージ

「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることとなります。ですから、今、時のある間に、すべての人に対して、善を行いましょう」(ガラテヤ 6・9-10a)

親愛なる兄弟姉妹の皆さん 四旬節は、わたしたちが個人としても共同体としても新しくなり、死んで復活されたイエス・キリストの過越に導かれていくのにふさわしい時です。2022年の四旬節の旅路を歩むにあたって、聖パウロのガラテヤの信徒たちへの勧めについて考えてみるとよいでしょう。「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることとなります。ですから、今、時(カイロス)のある間に、すべての人に対して、善を行いましょう」(ガラテヤ 6・9-10)・・・

※四旬節教皇メッセージが掲載されたカレンダーになっている「四旬節小冊子」と「四旬節・愛の献金」袋が配布されています。どうぞ、お持ち帰りください。

■ウクライナ危機人道支援と祈りのお願い(大阪教区よりのお知らせ)

ウクライナの現状は皆様も報道によってご存じのことと思います。多くの方が近隣諸国へ避難をして苦しい生活を余儀なくされています。大阪教区としては、皆様に昨年ご協力いただいた「すべてのいのちを守るための基金」から、カリタスジャパンの「ウクライナ危機人道支援」に寄付金を送金することにいたしました。皆様個人として協力を望まれる場合は、教区として募金を集めることはしませんので、各自でカリタスジャパンの「ウクライナ危機人道支援」の方へご協力をお願いいたします。

*大阪教区では、ロシアとウクライナの平和のために祈っていきたく思います。

①昨日(3月23日)、司牧者月修の際に、参加者で平和を祈願するミサを行いました。酒井司教様の説教動画を教区YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

②3月25日 ロシアとウクライナマリアの穢れなき御心への奉獻の祈り
教皇様は3月25日にロシアとウクライナを聖母の穢れなき御心に奉獻されます。全世界の司教に共に祈るよう呼び掛けておられます。ローマでは現地時間の25日午後5時に行われますが、日本時間では26日午前1時と深夜の上、日付がすでに26日ですので、日本時間の25日(神のお告げの祭日)のうちに言うことにいたしました。なお、この祈りの集いは、YouTube配信いたします。正午からの時間、皆さまとともに祈りをささげたいと思います。この時間に参加できなくても、録画を見て後から祈ることもできますので、よろしくお祈りいたします。

③毎日の祈りの中でのウクライナとロシアの平和のためにお祈り下さい。

④紛争がおさまるまでの間、主日のミサの中で、両国の平和のための意向を共同祈願に加えていただくようお願いいたします。平和の元后である聖マリアがわたしたちの祈りを取り次いでくださいますように祈ってまいりましょう。
(詳しくは、掲示している教区のお知らせや教区HPをご覧ください。)

■財務委員会よりお知らせ

令和4年度維持費納入袋を各自レターケースに配布しています。不備やご質問また、配布のない方などありましたら、会計までご連絡ください。本年度もご協力よろしくお祈りいたします。



主のご復活～新たな旅の始まり～

かわちブロック主任司祭 上田 憲

八尾教会の皆様、まもなく迎える主のご復活、おめでとうございます。

そして、この春の人事で、八尾教会の司牧を離れることになり、この二年間、皆様とともに信仰の旅を歩めたことを、心から感謝いたします。

コロナ禍の中で河内ブロックに異動し、一年たつと初めて三教会の主任を任せられ、多くの方に助けていただきながら、何とか乗り切ることが出来ました(笑)(私は、そう信じています!)間違いなく、たくさんの方に多大な御迷惑や、至らない点も多く、嫌な思いをされた方いらっしゃったことでしょう。本当に申し訳ございませんでした。

さて、大阪教区の多くは、主のご復活の際に異動することが多いのはなぜでしょうか。一つに世間でいう、年度初めを迎えるにあたり、新しい生活を迎えるにふさわしいということ

もあります。それだけではありません。ヨハネ福音書によると、復活したイエスに初めに会った、マグダラのマリアは、イエスを園丁と間違え、取り乱しながらイエスを返してほしいと願います。そんなマリアに向かって、イエスは、「マリア」と呼びかけ、マリアは、イエスと気づき、「ラボニ(先生)」



と呼びます。そして、イエスはマリアに「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。」と語られます。(ヨハネ 20:11-18参照) 私は、神父の異動はここに由来していると思っております。主の復活は、いまだかつて、誰も体験したことのない事件です。つまり、頭で理解できることではないのです。それはイエスと共にいた弟子たちでさえ、初めは理解できませんでした。しかし、理解するからこそ先に進むのではなく、納得するから前に進むのでもなく、私たちは、どのような困難な時でさえ、主への信頼を新たにし、告げ知らせるべき福音を宣べ伝えるため、前に進むのです。停滞は後進の前兆であり、常に新しい風を取り入れること、それこそが、私たちにとって前に進むための重要なことです。「わたしにすがりつくのはよしなさい」と語られるイエスのように、教会という船は、既存の出来事に縛られることなく、主の復活という新しい出来事を通して、さらに新しい世界へと飛び出すのです。それは、教会にとっても、信徒の皆さんにとっても、また私にとっても同じことが言えるでしょう。私も同じ教会に居続けるのではなく、さらに前進するために、「神父」として皆さんにすぎるのではなく、同じ信仰者として旅人の歩みを続けていきたいと思っております。

改めて、愛する八尾教会の皆さん、主の復活の喜びを体験するとともに、新しい世界へ共に歩みましょう。この旅は、御父の元へたどり着くまで、終わることがありません。そして、旅路の途中で、再び出会うことがあれば、また、よろしくお願ひします。

とここまで言いながら、同じブロックですから、きっと何度も会うことでしょう!どうぞ、これからも崔(チェ)神父様と共に、八尾教会の皆さんが、より良い日々を歩めますように。心から祈っています。二年間と言う短い時間ではありましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

